

第2回 橋田小学校・はしだ保育園 統合に関する説明会

令和8年5月15日（金）午後7時～
橋田小学校



3月の説明会およびその後

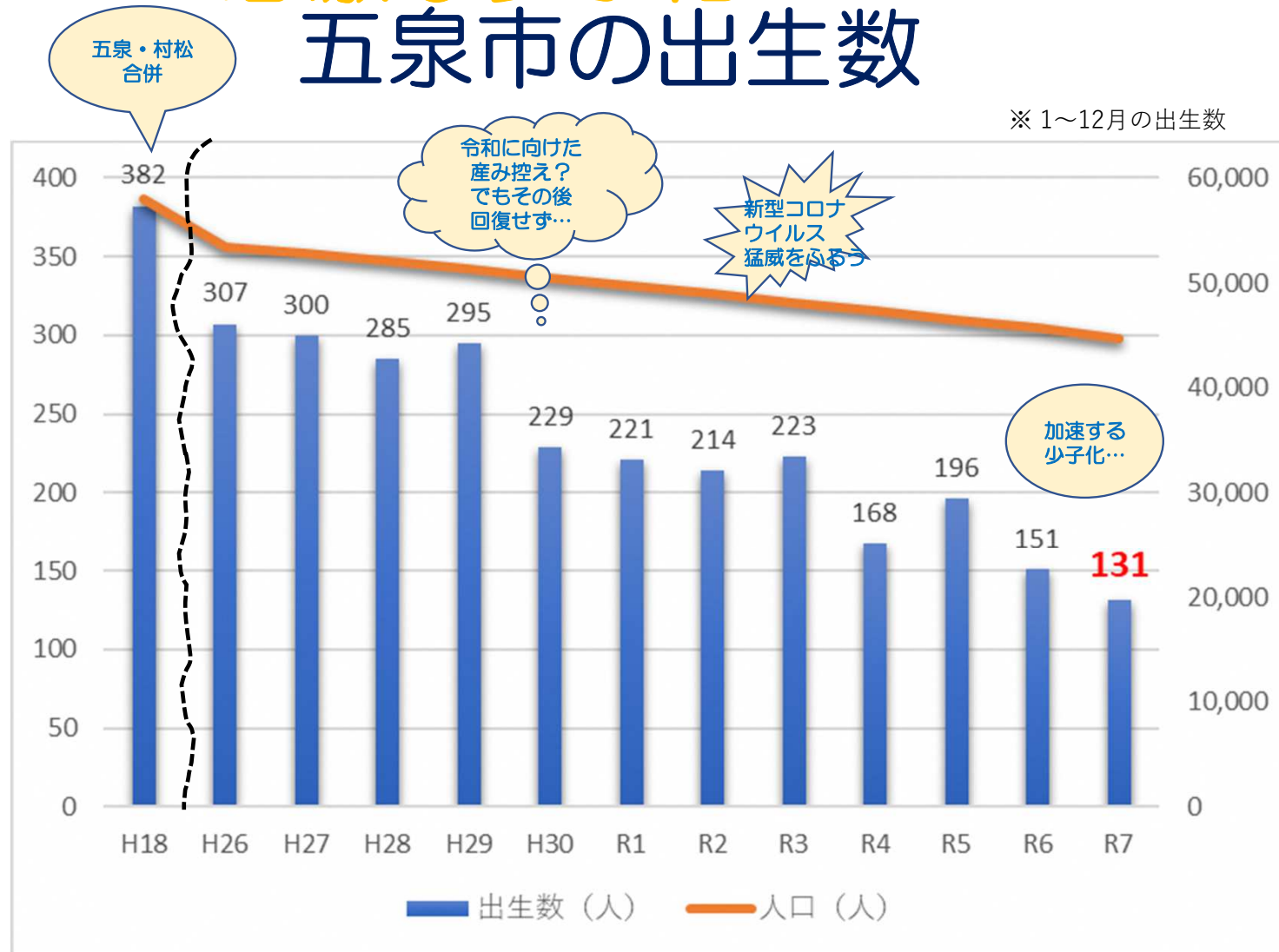
ご質問・ご意見をいただきありがとうございました。

- ✓ 統廃合は唐突感があり、統廃合になる前に何か手を打ってこなかったのか。
- ✓ 学校がなくなると地域のコミュニティがなくなり、地域が廃れる。
- ✓ 統廃合後、学校や保育園はどうなるのか。
- ✓ 1年前の複式学級の説明会からの急な方針転換に、不信感がある。
- ✓ 橋田小学校と地域のボランティアのつながりがなくなる。
- ✓ 橋田小学校を小規模特認校として残して地域を守ることはできないか。
- ✓ 体操着の買い替えなど、統合による負担増が不安である。
- ✓ 令和9年度入学の児童は最初から五泉小学校に入学させたい。

- ✓ 統合後、橋田小学校の児童を同じクラスにしてほしい。
- ✓ 自宅から近い五泉南小学校、五泉中学校へ子どもを通わせたい。
- ✓ 令和10年度のクラス編成は、1クラスの人数を少なくしてほしい。
- ✓ 子どもたちへの統合の説明はあるのか。子どもたちの考えも聞いてほしい。
- ✓ 子どもたちの事前交流の頻度を多くしてほしい。
- ✓ 地域と五泉小学校の交流も行っていてほしい。
- ✓ カウンセラーによる定期的なカウンセリングを行っていてほしい。
- ✓ 学校の中で、子どもの変化に気づき、フォローするのは誰か。
- ✓ 登下校バスはこれまでどおりか。

✓ 想定以上の急激な少子化

五泉市の出生数



橋田小学区では

	令和元年 2019年	令和4年 2022年	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年
在校生数	95	76	77	70	64	62
うち新入生	15	11	13	7	8	8
出生数	212	178	191	146	137	—
うち橋小学区	10	7	7	6	7	—
保育園入園数	49	35	28	21	17	13
市全体 0～30代						
男性	8,484	7,634	7,421	7,140	6,889	6,566
女性	7,961	7,150	6,938	6,690	6,393	6,121
計	16,445	14,784	14,359	13,830	13,282	12,687

※ 4～3月の出生数

✓若い世代の五泉
 市での定住
 ✓五泉市から転出
 の歯止めが急務

✓危機的状況への打開策

市外への転出の歯止め、定住のため

✓主な住宅・移住施策

◎ウェルカムファミリー住まいる事業

転入する新婚世帯や子育て世帯へ住宅取得（新築、購入）に補助金

令和4年33世帯はじめこの4年間で117世帯346人

◎グランドファミリー住まいる事業

多世代同居する新婚世帯や子育て世帯へ住宅取得（新築・購入）に補助金

令和4年7件はじめこの4年間で22件

令和7年から隣居の住宅取得に対し支援拡充

◎移住支援金

東京圏から就業に伴う移住し五泉市へ転入に支援金

令和4年1件はじめこの4年間で5件

◎ごせん起業者応援事業

市外から五泉市で新しい事業をスタートする方に補助金

令和4年1人はじめこの4年間で9人

✓ 危機的状況への打開策

妊娠・出産・子育てへの支援拡充

✓ 主な施策 こども家庭センター開設（一気通貫の支援体制構築）

◎ 不妊治療

男性不妊治療費上乘せ、治療費助成対象期間・回数の上限撤廃 ほか

◎ 妊産婦への助成、出産サポート

妊産婦医療費助成の前倒し、出産時移動での救急車登録 ほか

◎ 育児支援 子育て世帯訪問支援

◎ 発達支援

新生児聴覚検査費の助成、5歳児健診の新設 ほか

◎ 医療費助成

0歳から高校3年生相当まで医療助成、子ども・ひとり親家庭へ入院時一部負担金を無償化 ほか

✓ 危機的状況への打開策

子育てへの支援拡充

✓ 主な施策

◎ ごせん安心子育てにこここサポート

高校3年生相当まで対象、わかりやすい掲載 ほか

◎ 保育園・認定こども園・幼稚園

第3子以降の保育料無償化、給食費支援、保育園等の統廃合 ほか

◎ 病児保育

病児児童定員の拡大 ほか



✓ 学校が果たしてきた地域コミュニティ (こどもを通して)

こどもたち×住民

**見守り活動
あいさつ運動
運動会等行事参加
後援会支援
橋田小だより**

〇〇さんの子・孫
元気だね
顔の見える繋がい



**橋田ならではの！
田植え・稲刈り体験
うずらはしとの交流**

**町内での子供
会等はなくなり、
小学校が拠点！
学童野球、ミニバ
ス等を応援！
まつり等地域行事
にこども参加
声が聞こえる！**



✓ 地域コミュニティの拠点として

(学校活動以外の地域拠点)

- 地域の基幹避難所
- ドクターヘリ発着所（橋田小グラウンド）
- 生涯学習の場・公民館
- 健診会場、保健指導所
- 寺子屋
- 学校開放（体育館、グラウンドでのスポーツ等活動の場）
- 選挙投票所 など



今後、地域の皆さんの拠点として維持、継続が前提
民間活用を含め様々な観点から後世へつなげる拠点を
検討してまいります

学校に関するご意見・ご質問①

Q. 約1年前の複式学級に関する説明会の際は、地域からの要望がなければ統合は進めないという説明だったが、急な方針転換に不信感を抱いた。

A. 令和7年の出生数が131人と激減し、少子化に対応したまちづくりにはもはや一刻の猶予もない状況と考え、市として統合の方針を決断したものです。

学校に関するご意見・ご質問②

Q. 橋田小学校は地域のボランティアとつながりがあり、行事、授業や環境整備で協力いただいていた。統合によりその関係性が失われる。

A. 統合後も、学校ボランティアの皆さんなど、橋田地区のコミュニティの力を、五泉小学校の学習や活動に生かしていただければ幸いです。今後、統合に向けて、五泉小学校の学校運営協議会や地域学校協働活動本部の構成などについても、橋田小学校と相談して検討していきます。

学校に関するご意見・ご質問③

Q. 橋田小学校を小規模特認校として残して地域を守ることはできないか。

A. 今回の統合方針は、これから社会という大海原に出ていく子どもたちに、少人数でない教育環境の中で、多様性や思いやり、自立性を育ててほしいという考えの下で決断したものであります。子どもたちの将来を見据えて判断したものであることをご理解いただければと思います。

学校に関するご意見・ご質問④

Q. 体操着の買い替えなど、統合による負担増が不安である。

A. 令和9年度に橋田小学校に入学する児童の体操着などは、最初から五泉小学校のものを購入していただいで構いません。在校生の成長に伴う買い替えも同様です。また、統合後に橋田小学校の体操着をそのまま着用していても構いません。なお、橋田小学校では、今年度中に不要になった体操着を集めて新入学や買い替えが必要な方にお渡しすることを計画しています。また、市では、統合に伴う買い替えの負担に対する補助を検討しています。

学校に関するご意見・ご質問⑤

Q. 令和9年4月入学の児童は最初から五泉小学校に入学させたい。

A. 通学区域については規則で定めており、橋田地域にお住いのお子さんは橋田小学校への入学となります。

また、学校統合を理由とする学校選択の特例を設けることは考えておりません。ご理解をお願いいたします。

学校に関するご意見・ご質問⑥

Q. 自宅から近い五泉南小学校、五泉中学校へ子どもを通わせたい。

A. 以前、橋田地域は五泉中学校区と五泉北中学校区に分かれていましたが、子どもの数が減る中、学区の統一について地域から要望をいただき、対応を市に一任いただいて五泉北中学校区とした経緯があります。このことから、この度、五泉北中学校区である五泉小学校に統合する方針としたものです。再度学区を分けることは、現在考えておりません。

学校に関するご意見・ご質問⑦

Q. 統合後、橋田小学校の児童を同じクラスにしてほしい。

A. 橋田小学校と五泉小学校で情報共有した中で、事前交流の様子も見ながら、最もよいと考える学級編制をします。

学校に関するご意見・ご質問⑧

Q. 令和10年度のクラス編成は、1クラスの人数を少なくし、担任が児童同士の精神面にも目を向けられるようにしてほしい。

A. 学級編制は、国・県の基準により行いますので、ご理解をお願いします。児童の見守りやフォローは、担任だけでなく学校全体で行っていきます。市でも、これまでどおり補助員等の配置を行って、児童の支援体制を整えます。

学校に関するご意見・ご質問⑨

Q. 子どもたちへの統合の説明はあるのか。子どもたちの考えも聞いてほしい。

A. 統合については、学校から子どもたちに話をしました。事前交流等を進める中で、子どもたちの思いを把握していきたいと考えております。

学校に関するご意見・ご質問⑩

Q. 子どもたちの事前交流の頻度を多くしてほしい。
地域と五泉小学校の交流も行っていてほしい。

A. 現在、橋田小学校と五泉小学校で、交流の方法や内容を協議しているところです。計画が決まり次第保護者の皆さまにお知らせいたします。

また、今後、五泉小学校の情報を橋田地域の皆さまにも発信していくこととしています。

学校に関するご意見・ご質問⑪

Q. 統合後、慣れない環境での孤立やいじめが心配である。
カウンセラーによる定期的なカウンセリングを行ってほしい。

A. 五泉小学校では、統合によるいじめや人間関係のトラブルが起こらないような学校づくりを進めていきます。
また、五泉小学校はカウンセラー配置拠点校であり、現在2週間に1度の頻度でカウンセラーが来ています。橋田小から来た子どもたちへの支援をどのように行うのがよいか、今後カウンセラーと相談していきます。

学校に関するご意見・ご質問⑫

Q. 学校の中で、子どもの変化に気づき、フォローするのは誰か。担任はいつも遅くまで仕事をしており、細かいケアは難しいと思う。普段の子どもたちの細かなケアは、学校の誰が担うのか。

A. 担任は児童のことを細やかにケアしています。さらに児童の見守りやフォローは、担任だけでなく学校全体で行っていきます。市でも、これまでどおり補助員等の配置を行って、児童の支援体制を整えます。

学校に関するご意見・ご質問⑬

Q. 登下校バスはこれまでどおりか。五泉小学校はSuicaを持ってバス登校している子がいる。

バスの運転手が高齢化しているのが心配である。

A. 橋田地域から五泉小学校への通学は、現在同様、専用の通学バスで送迎する計画です。なお、五泉小学校の一部児童は、民間の路線バスで通学しています。

運転手の高齢化やなり手不足は全国的な課題です。安全な運行に十分配慮して指導してまいります。

学校に関するご意見・ご質問⑭

Q. 自分の子どもは入学前だが、橋田小学校の授業の様子などを見に行く機会があるとよい。

A. ぜひ橋田小学校の様子を見に来てください。
お越しの際は、事前に連絡くださるようお願いいたします。

今後のスケジュールについて

○事前交流事業（橋田小学校・五泉小学校）

8月頃まで 交流計画の検討・作成

10月頃から 計画に基づいて交流事業を実施

○閉校記念事業（橋田小学校・関係機関・教育委員会）

10月頃まで 事業計画の検討・作成

○保護者負担への支援制度（教育委員会）

10月頃まで 支援内容の検討

3月 支援制度の決定

※いずれも、後日あらためて詳細をお知らせいたします。

こどもたちの将来未来へ
希望と夢を持って一歩を！

